



令和6年1月17日

各報道機関 御中

西都市が抱える課題解決に向けて学生が市長に提言  
～ これからのDX・移住定住・観光・農業はどうあるべきか ～

このたび、宮崎大学では、学生と西都市役所職員がチームを組んで、西都市が抱える4つの課題（DX・移住定住・観光・農業）について半年間かけて検討した解決策を、西都市長はじめ西都市職員の皆さまに提案する場を設けることとしましたので御案内させていただきます。

これは、宮崎県内の各地域に飛び込んで地域の人たちに寄り添いながら、学部を超えたチームで課題解決法を実践的に学び、地域社会のリーダーとなる人材の養成を目指す「宮崎大学地域教育プログラム」の一環として実施するものです。宮崎大学では、学部を問わず地域活性化に貢献できる人材の育成を目指しており、所定の科目を履修して単位を修得した学生には「地域活性化・学生マイスター」（初級：18単位以上、上級：24単位以上）を付与しています。これまで履修した学生には、プログラム終了後も継続して地域課題に主体的に取り組んでいる学生もいれば、プログラムでの体験等がきっかけで、宮崎県内に就職を決めた学生も多数存在します。

今回は、「地域活性化・学生マイスター上級」取得を目指す7名が4チームに分かれて、「地域デザイン概論Ⅱ」の講義の一環として西都市長を始めとする西都市職員の皆さまに、学生の専門性や視点を活用しながら、下記のとおり提案いたしますので、取材についてご検討いただきますようお願いいたします。

記

- 日 時：令和6年1月22日（月）17：00-18：30
- 開催場所：宮崎大学附属図書館1階 ワークショップコート
- 発表学生：地域資源創成学部4名 農学部2名 工学部1名



- ① 問い合わせ先  
学び・学生支援機構 地域人材部門 （担当：中山・桑畑）  
TEL：0985-58-7250 E-mail：coc@of.miyazaki-u.ac.jp
- ② 発信元  
企画総務部総務広報課  
TEL：0985-58-7114 FAX：0985-58-2886